

※Climate宣言は温室効果ガスの排出量をCO2換算値で示したものであり、EPDではありません。EPDは<https://ecoleaf-label.jp/>を確認してください。

鉄で未来を 未来の鉄を



ヤマトスチール株式会社
YAMATO STEEL Co., Ltd.

宣言単位・機能単位

1t

システム境界

最終財 中間財

製造段階（原材料調達、原材料の輸送、製品の製造）および間接影響

製品の型式、主要仕様・諸元

製造サイト：本社（姫路工場）

主な規格：SM490Aタイプ

主な断面・板厚（単位mm,t=板厚）
H196(t6)×B197(t8)

PCR情報

PCR名 建設用鉄鋼製品（中間財）

PCRレビューパネル

認定日等 2023年5月10日

パネル委員長 松野 泰也

千葉大学

縞H形鋼

Patterned H-Beams



EPD検証情報

登録番号 JR-AJ-24061E

適用PCR番号 PA-180000-AJ-06

公開日 2025年2月1日

検証合格日 2025年1月14日

検証方式 個別検証方式

検証番号 JV-AJ-24061

検証有効期間 2030年1月13日

検証 内部 外部

検証員 阪元 勇輝

GWP (カーボンフットプリント)

ライフサイクル段階	内訳	単位	割合
【A1】原材料調達	4.8E+01 kg-CO2eq		9%
【A2】輸送	2.4E+01 kg-CO2eq		5%
【A3】生産	4.4E+02 kg-CO2eq		86%
【D】間接影響 鉄鋼製品のリサイクル効果	2.2E+02 kg-CO2eq		-
合計	5.1E+02 kg-CO2eq		

算定に関する追加情報

- ①間接影響として、JIS Q 20915に基づく鉄鋼材料のリサイクル効果を評価し、上記の表【D】にその値を記載した。リサイクル効果は、製品生産サイトへのスクラップ投入に伴う負荷及び使用済み鉄鋼製品のスクラップ回収に伴うクレジット（控除）の合計で計算される。計算に使用したリサイクル率は93%（計算はJIS Q 20915に従い、2018年度の国内データ（出典：日本鉄鋼連盟、スチール 缶リサイクル協会）を使用）
- ②輸送シナリオはPCRに従った。
- ③一次データの取得年は2023年である。
- ④電力原単位は「電力、一般電気事業者10社平均、2018年度」を使用した。
- ⑤材料及び物質に関する構成成分は、弊社安全データシート（SDS）から引用した値を記載した。

Climate宣言について

この宣言は、ISO14025に準拠したEPDを作成するために実施されたLCAの算定結果に基づき、地球温暖化影響（カーボンフットプリント）のみを切り出して開示した宣言です。カーボンフットプリント以外の指標が、地球温暖化への影響と同等又はそれ以上の重要性を持つ可能性があり、本宣言の解釈及びコミュニケーションには細心の注意が必要です。この数値は、検証済みデータの一部を切り出したもので、宣言そのものはSuMPO環境ラベルプログラムで検証を受けたものではありません。ISO14025に準拠したEPDは右のQRから確認してください。

EPDリンク



EPDリンク <https://ecoleaf-label.jp/epd/2004>

LCIデータ

IDEA ver.3.1.0

問い合わせ先

ヤマトスチール株式会社 安全環境管理部 環境管理課 TEL：079-273-0715

<http://www.yamatokogyo.co.jp/steel/>